

平成26年決算特別委員会において「検討する」旨答弁した事項の 検討状況について

生活環境部

「検討する」旨の答弁を行った事項 (所管課)	そ の 後 の 検 討 状 況
<p>【質問要旨 小原委員】 子ども・若者育成支援事業は、緊急雇用創出等臨時対策基金を活用していると思うが、来年度以降は、どのように事業を展開していこうと考えているのか。</p> <p>【答弁要旨 男女共同参画課長】 若者会議のメンバーから、「中核となる人材が必要である」という意見が出されているため、若者会議が地域に根差した持続的な活動が行えるよう、リーダーの育成や市町村等との連携などについて検討している。 (男女共同参画課)</p>	<p>新規事業として「地域の若者応援事業」を実施することとしており、この事業において、3地区で全県若者会議を開催する際、実行委員会形式で若者が主体となり準備段階から運営にかかわってもらうことにより、リーダーの育成を進めていく。</p> <p>また、市町村等に対しては、これまで若者会議と市町村が連携して取り組んだ事例等を紹介しながら、事業実施において積極的な連携を働きかけていくこととしている。</p>
<p>【質問要旨 東海林委員】 青少年育成秋田県民会議については、現在、県は40万円程度の補助金を交付しているが、同団体は毎年400～500万円の青少年育成基金を取り崩して経営している状況である。 この様な状況では、今後十数年で基金が枯渇してしまいそうだが、従来どおりの対応を継続していくのか。</p> <p>【答弁要旨 男女共同参画課長】 青少年育成秋田県民会議の経営状況については、基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況が続いている。 同団体では、引き続き、会員の拡大や経費の縮減に努めることとしているが、県としても、委託事業などを検討していきたいと考えている。 (男女共同参画課)</p>	<p>青少年育成秋田県民会議が行う青少年健全育成事業に対する補助を継続するとともに、今年度新たに「子ども・若者活躍推進事業」を同団体に委託し、青少年育成団体や若者団体への活動支援や、それぞれの取組報告会を行う。</p> <p>また、関係団体や地域の方が参加する報告会の場を活用し県民会議の取組を紹介するなど、会員拡大につながるようPRを行う。</p> <p>なお、県の「第三セクターの経営の健全化等に関する行動計画（第2次）」に基づいて、県出資金の寄付（返戻）が行われる予定である。</p> <p>県としては、引き続き県民会議と連携し、着実に青少年健全育成活動を推進していく。</p>

<p>【質問要旨 柴田委員】</p> <p>八郎湖の水質保全対策については、将来に向けて、どのような対策を実施していくべきと考えているのか。</p> <p>【答弁要旨 八郎湖環境対策室長】</p> <p>第1期湖沼水質保全計画では、発生源対策に重点的に取り組んできたが、なかなかアオコの問題等が解決出来なかった。そこで、平成25年度末に策定した第2期湖沼水質保全計画では、湖内浄化対策に重点的に取り組むこととした。</p> <p>今年度は、試験段階だが、シジミによる水質浄化や高濃度リンの回収対策などの新しい対策にも取り組んでいる。また、次期計画に反映させることができるよう、新たな湖内浄化対策の検討も進めている。</p> <p>(八郎湖環境対策室)</p>	<p>平成27年度からは、調整池内でも著しく水流が滞っている大久保湾において、酸素を豊富に含んだ水を湖底に供給し、水質及び底質の改善を図る実証試験を行う。</p> <p>また、湾内の水を流動化して水質を改善するため、南部干拓地等の農業水利施設を活用した効果的な対策のシミュレーションなどを行う。</p> <p>これらの事業については、国と連携しながら進めることとしており、従前から実施している汚濁の発生源対策、湖内浄化対策などと併せて検証・実施し、第2期計画の水質目標の達成を目指すとともに次期計画に反映させていきたい。</p>
---	--